

カメラを安全にお使いいただくために

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

⚠ 警告

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

⚠ 注意

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

⊘ は、禁止事項を表わすマークです。

⚠ は、注意を促すためのマークです。

⚠ 警告

⊘ ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。

⊘ 望遠レンズを付けた状態で長時間太陽を見ないでください。目を痛めることがあります。特にレンズ単体で直接太陽を見ないでください。失明の原因になります。

⚠ 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

⊘ 電池をショートさせたり、火の中に入れてください。また、分解や充電をしないでください。破裂・発火の恐れがあります。

⊘ 電池は＋の向きを逆にしないでください。向きを間違えると、液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。

⚠ 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。この場合、やけどに十分ご注意ください。

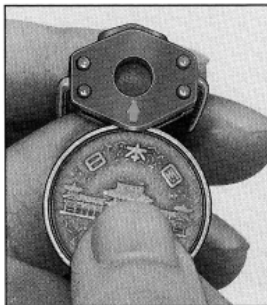
1

撮影準備

ストラップを、ボディの吊り金具に取り付けます。

ストラップの取り付け方

1



2

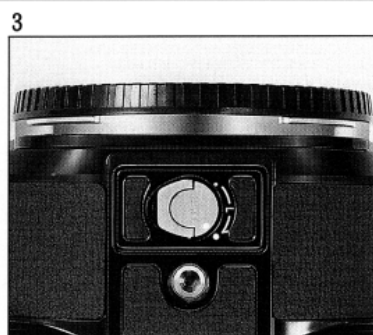
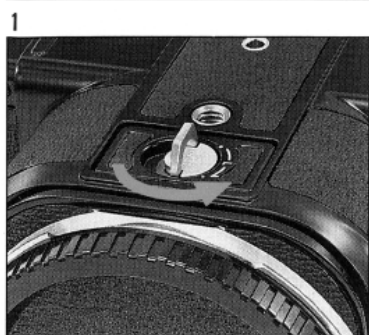


1. 写真のように、コインなどでストラップの取り付け金具のロック板を矢印の方向に押してロックを解除します。
2. 取り付け金具の矢印のある側を表にして吊り金具に差し込みます。ロック板を元に戻してロックしてください。
3. ストラップの長さの調整は、ストラップ留め具で行います。

ストラップの取り付け・調整が終了したら強く引いて、取り付け具合を確認してください。

2

電池の入れ方



必ず下記のどちらかの電池をご使用ください。

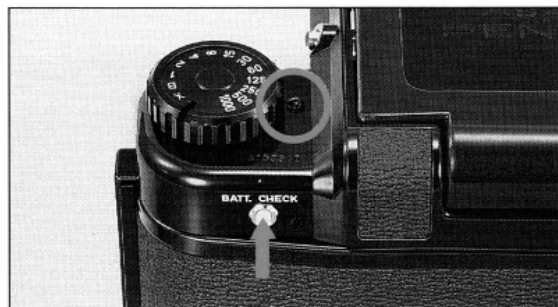
4LR44形アルカリマンガン電池

4SR44形酸化銀電池

- 電池を逆に入れたり、電池を入れないでシャッターを切ると安全機構が働いてミラーが途中で止まります。
- ミラーが途中で止まっている状態で新品電池を入れると消耗します。必ずミラーを復元させてから電池を交換してください。ミラーの復元方法は、4ページを参照してください。

1. クランクをを起こして左に回し、電池ケースを取り出します。
2. 電池〔1個〕を電池ケースに差し込んで、⊕と⊖を電池室のマークに合わせて入れてください。
3. クランクを矢印の方向へ、赤点が会うところまで回してロックし、収納します。

3



電池の確認

バッテリーチェックボタンを押して、赤ランプが点灯することを確認してください。赤ランプが点灯しないときは、速やかに新品電池と交換してください。



ミラーの復元方法

安全機構解除ボタンをボールペンの先などで押してミラーを上げてからシャッターを切ります。1枚は空写しになります。

- 電池が消耗し切ると安全機構が働いてミラーが途中で止まります。
- バッテリーチェックボタンを必要以上に頻繁に押すと電池の消耗を早めます。
- 赤ランプが点灯しなくなってもしばらくは作動しますが、シャッター速度が不安定になります。速やかに電池を交換してください。

4

電池について

- 4LR44形アルカリマンガン電池あるいは、4SR44形酸化銀電池を使用します。⊕⊖を正しく合わせて入れてください。
- 電池の寿命はアルカリマンガン電池で約6カ月、酸化銀電池で約1年です。ただし、TTLペンタプリズムを使用するときは、電源がボディーと共用のため、上記より短くなります。
- 低温では、一時的に電池の性能が低下して容量不足になることがあります。常温に戻れば再び使用できます。別売りの67用バッテリーコードを使用すれば、電池を保温しながらカメラを操作できます。

- 海外旅行・寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。
- カメラを長期間使わないときは、カメラから電池を出しておいてください。古くなった電池は液もれを生じ、カメラの故障の原因になることがあります。
- カメラに付いている電池はサンプル電池です。電池の自然放電のため容量が少なくなっている場合があります。



5

ファインダーの交換

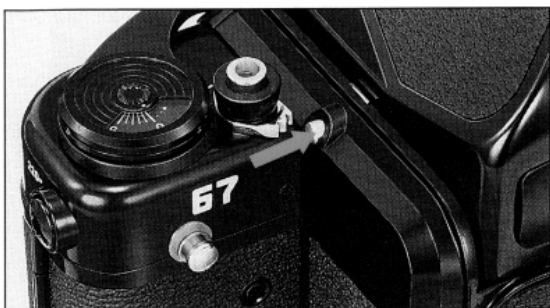


67には、アイレベルタイプの①TTLペンタプリズム、②ペンタプリズムとウェストレベルタイプの③固定ピントフード、④折りたたみピントフードの4種類の交換ファインダー〔いずれも別売〕があります。

取り付け方：

各ファインダーともボディーのファインダー枠に正しく合わせて、カチッと音がするまで押し込んで取り付けます。取り付け後、念のため確実に固定されているか確認してください。

- TTLペンタプリズムを取り付けるときは、必ず一旦ボディーからレンズを外してください。レンズが付いたままでは、絞り連動ピンがかみ合わず、露出計が作動しません。



外し方：

ファインダー着脱ボタンを両側から押し込んで取り外します。



ファインダー視野：

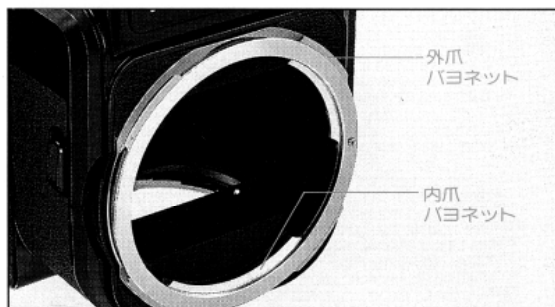
TTLペンタプリズムおよびペンタプリズムでは、縦横とも写る範囲の約90パーセントが正像として見えます。

ウェストレベルファインダーの場合は、ほぼ100パーセントの視野となりますが、左右逆像です。

- ファインダーを付けずに撮影すると、フィルムにカブリを生じることがあります。
- 折りたたみビントフード等を使用するときは、ファインダーに直接太陽光のような強い光を入れないでください。

7

レンズの取り付け・交換



67は専用ダブルマウント方式です。自動絞りが使用できる内爪と大型レンズ用の外爪があります。

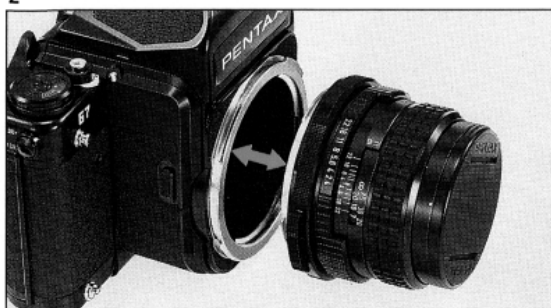
ここでは、内爪バヨネットについて説明します。大型望遠レンズを除き、ほとんどのレンズ及びアクセサリーは内爪バヨネットで取り付けられます。



1. カメラとレンズのマウントキャップを外します。どちらのキャップも、左に止まるまで回せば外せます。

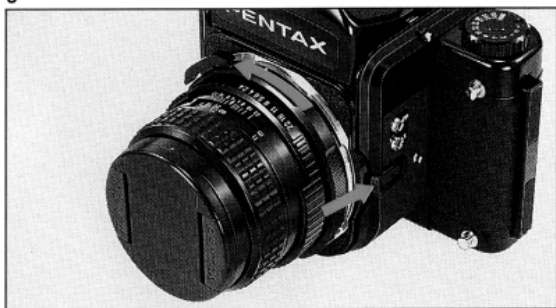
外爪バヨネットレンズについては、使用説明書「S MCペンタックス・タクマー67交換レンズの使い方」をご覧ください。

2



2. ボディとレンズの赤点を合わせてはめ込み、レンズを右に止まるまで回します。カチッという音が生じて、ロックされます。

3



3. レンズを外すときは、レンズロックレバーをボディ側に押しながら、レンズを左に回します。

●外したレンズには、ゴミや汚れが付かないようにレンズキャップとレンズマウントキャップを付けましょう。

9

空シャッターの切り方

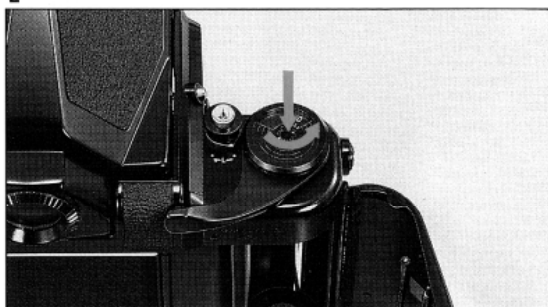
1



6 7 は、空シャッターのセットをしないかぎり、フィルムを入れなければシャッターが切れません。

空シャッターのセットは、つぎの 2 通りの方法で行えます。

2



A] 裏ぶたを閉じて切りたいとき：

1. 裏ぶたの開放レバーを引いて、裏ぶたを開けます。
2. フィルムカウンター中央のカウンター作動盤を押しながら、1 以上の目盛りになるまで左に回します。